

3 産業経済

3-1 漁業

寿都町における漁業の歴史は古く、町史によると1600年代に豊富なニシンを背景に和人が集落を形成し、住み着いたことが町の始まりとされています。以来、寿都町は漁業を中心として発展してきました。200海里問題以降は沿岸漁業へ移行し、比較的穏やかな寿都湾の特性を活かしたつくり育てる漁業を展開し現在に至ります。近年は、海洋環境の変化や資源量の減少により漁獲量は減少傾向にありますが、安定した生産の見込める養殖漁業の拡充や漁獲物の高付加価値化・販路拡大により漁業生産力と漁業所得向上を図っております。

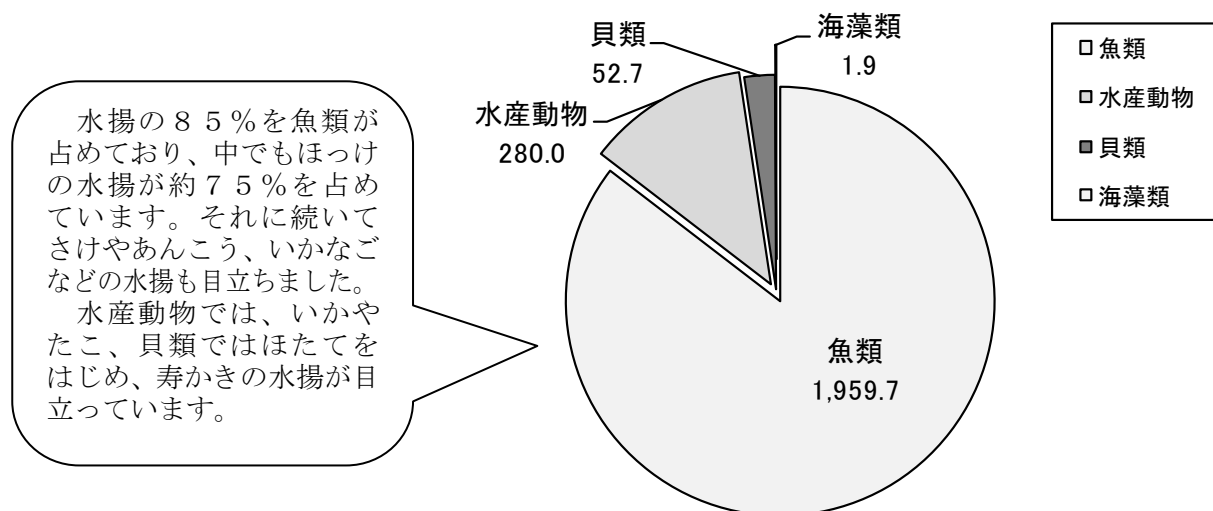
■魚種別漁獲量【t/千円】

【平成30年1月～12月】

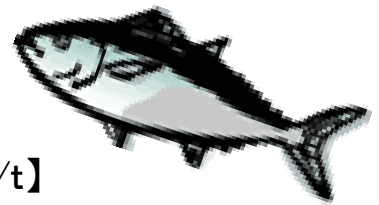
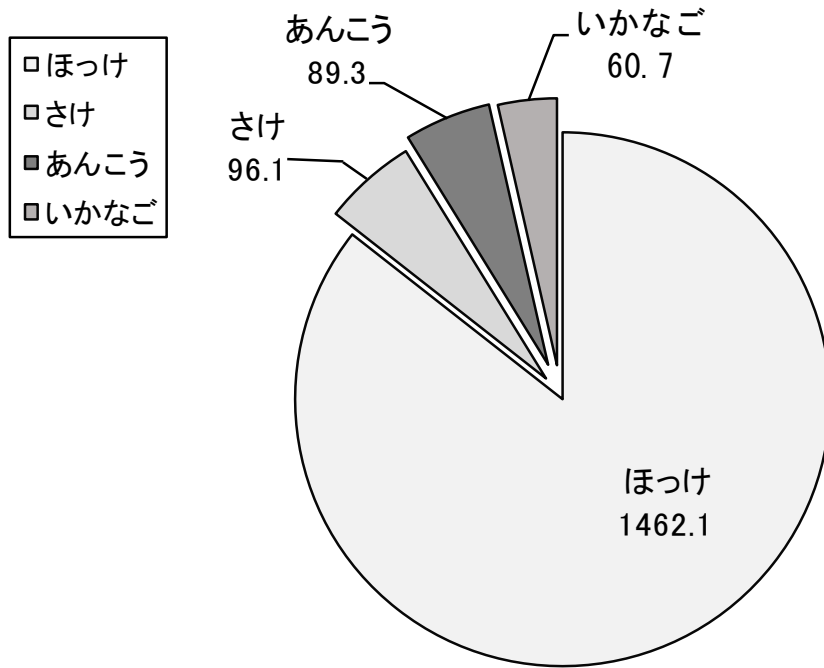
魚類			水産動物			貝類			海藻類		
区分	漁獲量	金額	区分	漁獲量	金額	区分	漁獲量	金額	区分	漁獲量	金額
さけ	96.1	61,279	いか	123.1	77,970	あわび	0.4	2,842	採藻(生)	1.8	1,944
ます	17.2	14,813	たこ	82.3	41,557	つぶ	1.0	487	採藻(製)	0.0	0
たら	17.1	1,913	なまこ	42.5	271,919	ほたて	32.2	11,907	その他	0.1	96
すけとうだら	0.0	0	うに	28.5	54,009	ほっき	1.1	715			
ほっけ	1,462.1	64,610	えび	3.3	3,020	かき	18.0	11,872			
さば	25.9	1,204	かに	0.3	337	その他	0	2			
いわし	14.8	201									
にしん	24.7	4,565									
ひらめ	21.0	13,051									
かれい	29.7	3,812									
まぐろ	0.0	0									
ぶり	31.4	3,105									
いかなご	60.7	59,519									
めばる	11.6	1,303									
そい	10.7	2,174									
あぶらこ	4.7	985									
あんこう	89.3	38,552									
かすべ	23.5	2,224									
かわはぎ	1.7	527									
ふぐ	0.1	55									
その他	17.4	5,667									
魚類			水産動物			貝類			海藻類		
小計	1,959.7	279,559	小計	280.0	448,812	小計	52.7	27,825	小計	1.9	2,040

3-1-1 魚種別漁獲量推移【平成30年 寿都町漁業協同組合調べ】

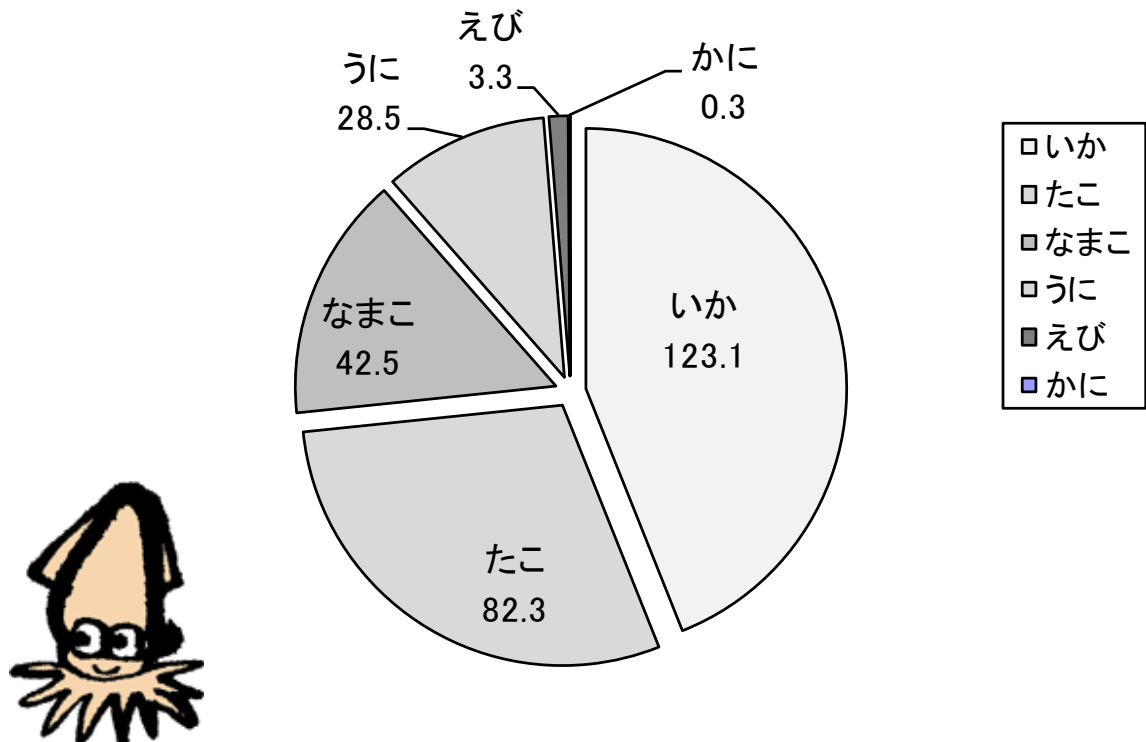
平成30年魚種別漁獲量【t】



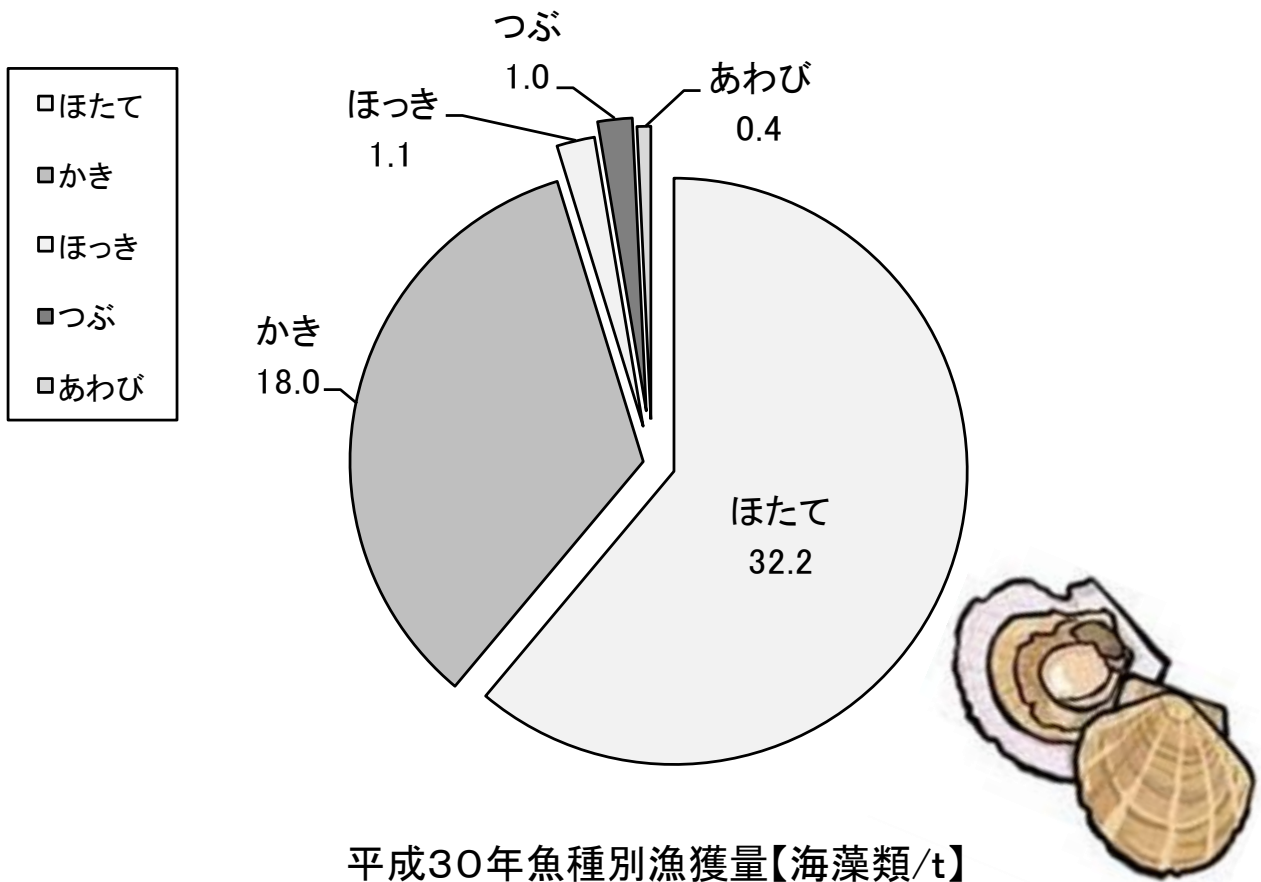
平成30年魚種別漁獲量【魚類/t】



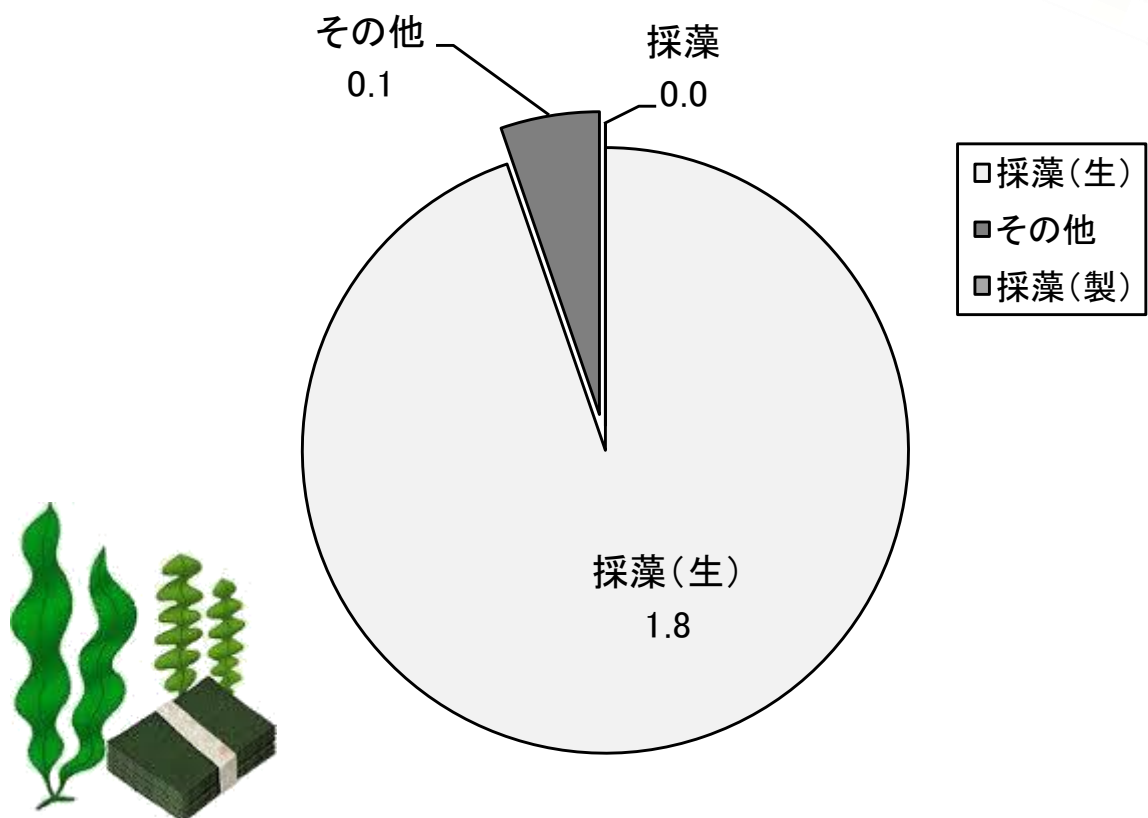
平成30年魚種別漁獲量【水産動物/t】



平成30年魚種別漁獲量【貝類/t】



平成30年魚種別漁獲量【海藻類/t】



3-2 商業【各年商業統計調査（6月1日現在）人・百万円】

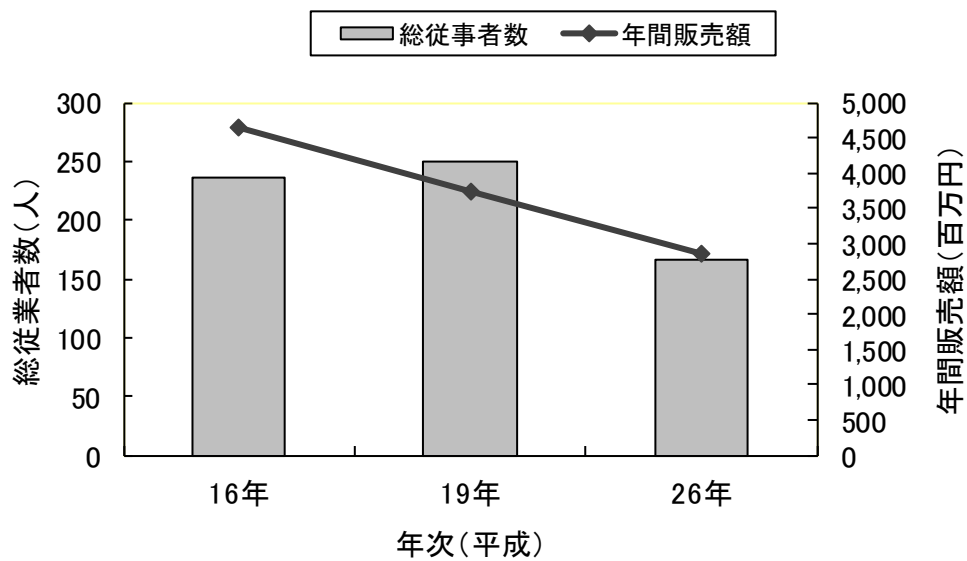
商業活動の実態を明らかにするため、商業（卸売業・小売業）を営む全国の商店を対象に実施している調査の結果です。

・総従事者数と年間販売額

■商業【各年商業統計調査 単位：人・百万円】

年次(平成)	16年	19年	26年
総従事者数	236	249	167
年間販売額	4,635	3,726	2,864

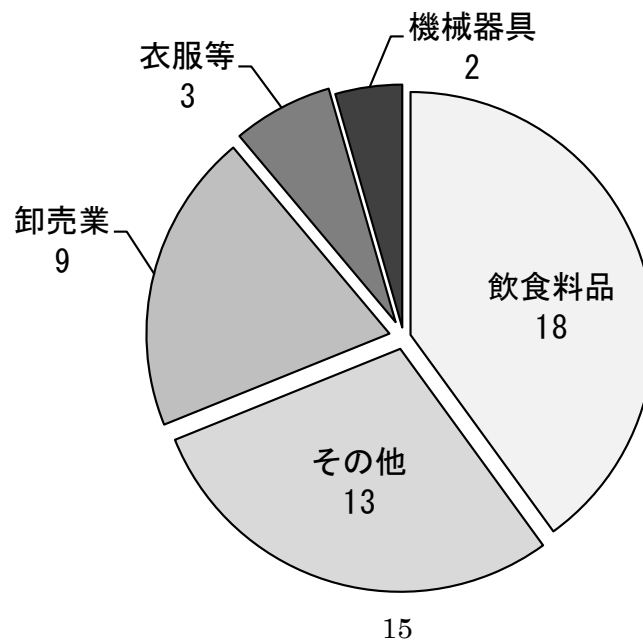
商業統計調査



■分類別事業所数…平成26年総事業所数45

【内訳 卸売業…9 小売業(機械器具・飲食品・衣服・自動車・その他)…36】

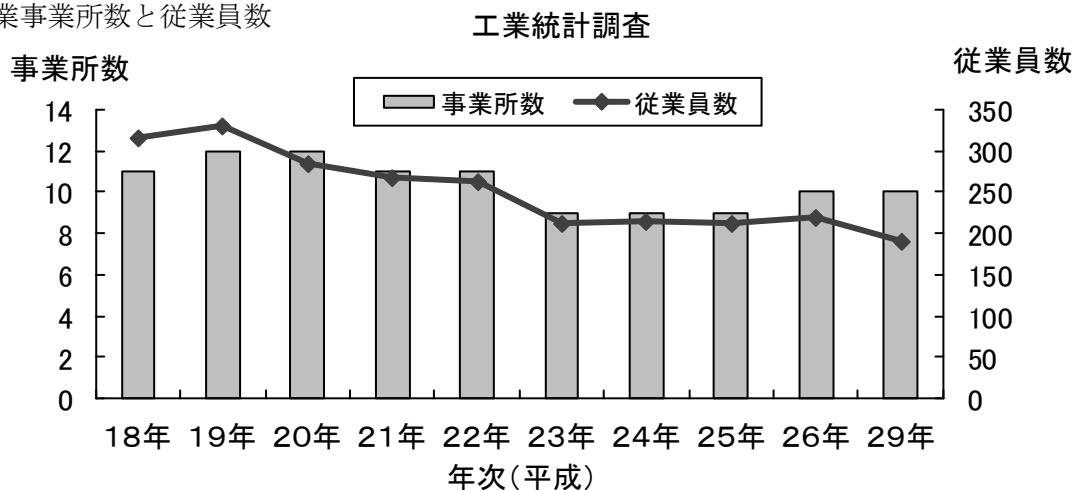
分類別事業所数【平成26年】



3-3 工業【各年工業統計調査（平成18年～平成26年：12月31日現在、
平成29年～：6月1日現在）人・百万円】

製造業の実態を明らかにするため、全国の製造業を営む事業所（工場）を対象に毎年実施している調査の結果です。（平成20年以外の場合、従業員3人以下の製造所は含まれていません）

・製造業事業所数と従業員数



■工業【工業統計調査(人・百万円)】

年次(平成)	18年	19年	20年	21年	22年
事業所数	11	12	12	11	11
従業員数	317	330	284	269	263
製造品出荷額	3,160	3,251	3,246	3,260	3,047

年次(平成)	23年	24年	25年	26年	29年
事業所数	9	9	9	10	10
従業員数	212	215	212	220	191
製造品出荷額	2,691	2,739	2,768	3,025	2,744

※平成27年工業統計調査については、平成28年経済センサス活動調査（平成28年6月1日現在）実施のため行われませんでした。
また、工業統計調査は例年12月1日現在で実施されておりましたが、調査日を6月1日に変更したため、平成28年は実施されませんでした。

製造業を営む事業所の約8割が水産加工業者で、寿都湾で水揚げされた新鮮な魚介類をさらにおいしく加工して出荷しているんだ。小女子（いかなご）を生のまま炊き上げた「生炊きしらす佃煮」や「ほっけの飯寿し」などが町を代表する特産品として、全国的にも好評を得ているよ！



3-4 事業所数

【各年事業所・企業統計調査（10月1日現在）経済センサス（6月1日現在）】

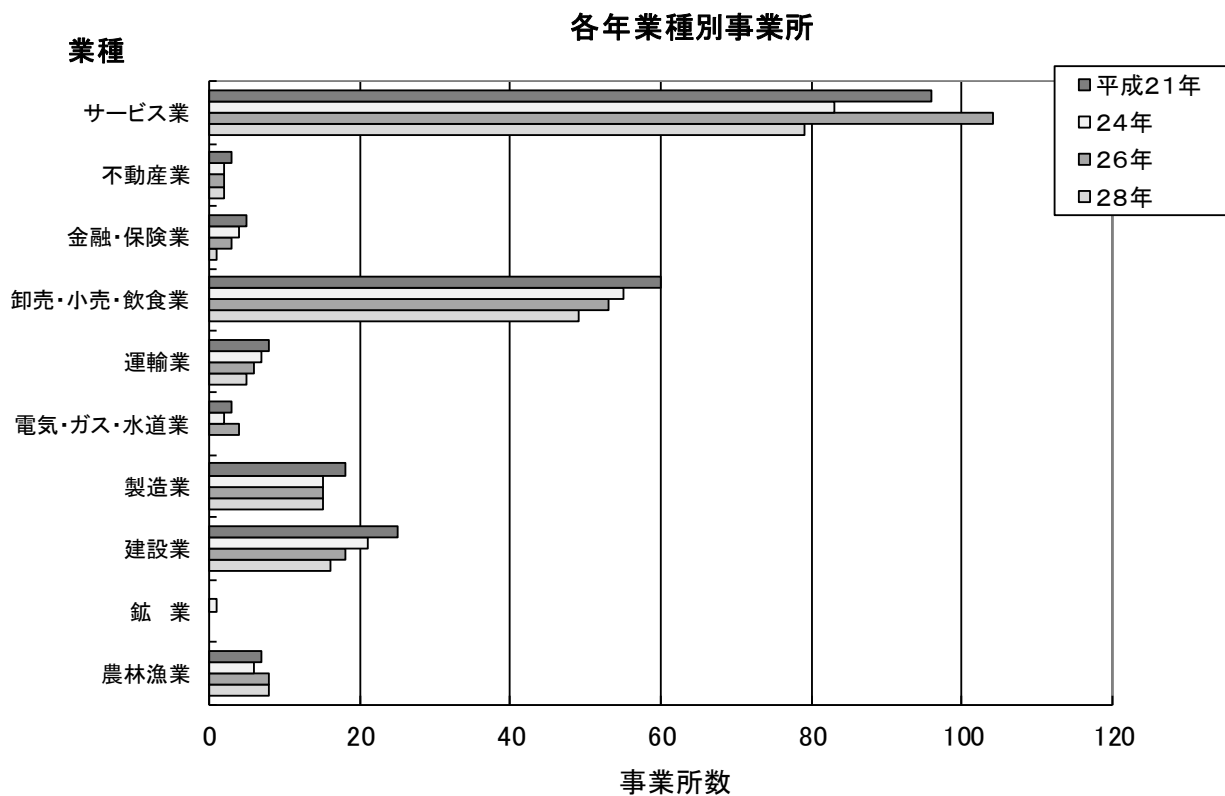
事業所の事業活動及び企業の企業活動の実態を明らかにし、施策を進めるため実施される調査です。事業所及び企業の産業、従業者規模等の基本的な構造を調査したものです。

■産業分類別事業所数

年次\分類	農林漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸業
平成21年	7	-	25	18	3	8
24年	6	1	21	15	2	7
26年	8	-	18	15	4	6
28年	8	-	16	15	-	5

年次\分類	卸売・小売・飲食業	金融・保険業	不動産業	サービス業	総数
平成21年	60	5	3	96	225
24年	55	4	2	83	196
26年	53	3	2	104	213
28年	49	1	2	79	175

平成24・26・28年は経済センサス基礎及び活動調査を出典としています。



3-5 農 業

農業経営体については、各年農林業センサス（農林業の生産構造、農業・林業生産の基礎となる諸条件等を総合的に把握することにより、基本構造の現状と動向を明らかにし、農林業施策等について行う諸統計調査に必要な基礎資料を整備することを目的に5年に1回実施）によって調査した数字になります。品目別収穫量については、JAで取り扱っている寿都産農産物の中でも収穫量の多いものを取り上げています。

■農業経営体

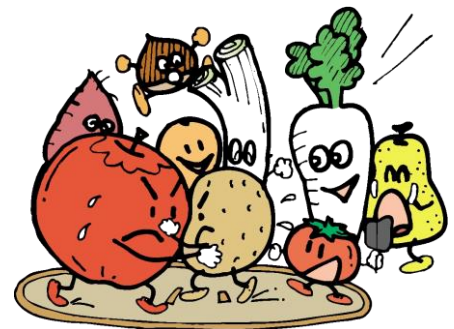
【各年農林業センサス 単位：経営体、ha】

年次	農家数					耕地面積		
	総数	販売農家	専業	兼業		総面積	田	畑
				第1種	第2種			
平成17年	75	28	14	2	12	76.5	6.9	69.6
22年	27	14	7	5	13	7.2	0.5	6.7
27年	15	11	7	2	6	4.2	0.2	4.0

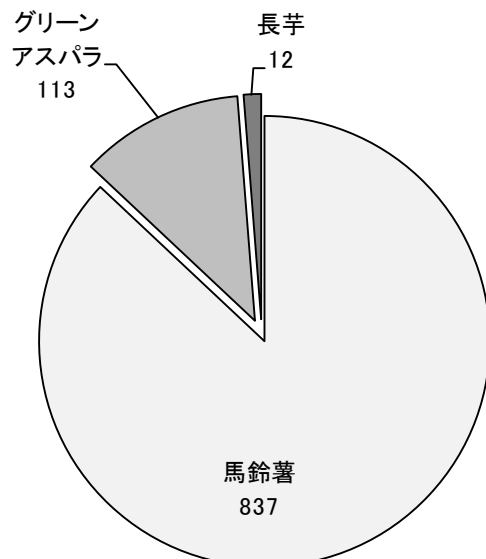
■品目別収穫量（JA取扱分）【各年1月～12月 単位：t・万円（肉牛については頭）】

品目	26年		27年		28年	
	収穫量	金額	収穫量	金額	収穫量	金額
馬鈴薯	187.2	786	169.4	649	237.3	1,073
長芋	1.2	21	4.7	83	3.8	64
グリーンアスパラ	1.5	94	2.2	175	1.4	103
いちご	-	-	-	-	-	-
肉牛	31頭	1,721	26頭	1,672	33頭	2,378

品目	29年		30年	
	収穫量	金額	収穫量	金額
馬鈴薯	223.3	732	229.6	837
長芋	6.1	104	0.7	12
グリーンアスパラ	1.0	88	1.3	113
いちご	-	-	-	-
肉牛	30頭	2,243	30頭	2,172



平成30年 品目別金額【万円】



- 馬鈴薯
- グリーンアスパラ
- 長芋

全体的に見て安定して収穫があるのは、馬鈴薯となっており、平成30年には、229.6tの収穫があります。

漁業とともに寿都町を支える産業として発展することが期待されます。